


第8回 横浜国立大学HCD

ミニシンポジウム

「“いのち”の語らい—国大から自然・動物・人間の共生を考える—」 

緑豊かな国大キャンパスの「森」には、様々な動植物が生息している。中でも「動物」に関しては、自然の「森」を求めて周辺地域から移り棲んでくる野良猫、もしくは人為的に持ち込まれる（捨てられる）猫が後を絶たない。そこでは、そうした身寄りのない猫たちの“一代限りの生（餌付に始まり、人為的に不妊・去勢手術をすること）”を支える市民ボランティア、そして学生・教職員ボランティアが地道に活動が続いている。その活動を通して見えてくる「キャンパスの環境保全に必要な活動のあり方」、「人間と動物（猫）の共生のあり方」、そして「いのちの教育の大切さ」——。「こころの豊かさ」が求められる今の時代に、私たちは何を考え、行動していかなくてはならないのだろうか？本シンポジウムでは、「学内関係者、ステークホルダーとの協働のあり方」、「大学・地域との連携のあり方」を念頭に「自然・動物・人間の共生」について参加者の皆さまと一緒に考えて参りたい。

✕ 日時：2013年10月26日（土）12：40～13：50

✕ 場所：理工学部講義棟A207教室

✕ プログラム

第1部 基調報告 「17年間の私の信念、祈り、そして行動——国大での『地域猫活動』」野方 みどり（横浜国立大学委嘱 市民ボランティア）

第2部 学生・教職員・卒業生・地域市民によるパネル・ディスカッション、質疑応答

【予定パネリスト（五十音順）】

学生団体「横浜国立大学ネコサークル」代表

小坂 隆昭（富丘会理事、経営1期生）

野方 みどり（横浜国立大学委嘱 市民ボランティア）

安野 舞子（横浜国立大学 大学教育総合センター 講師）